

学校関係者評価報告書

愛媛県立南宇和高等学校

評価実施日	平成28年2月1日(月)
-------	--------------

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 教育方針・重点目標</p> <p>教育目標が自主的で心身共に健康な生徒の育成から進取の気風を持つ、深く学び、個性的な生徒の育成とより具体的で分かりやすい目標になり、校訓との結び付きもより明確になったと思います。生徒・先生・保護者に浸透するように今まで以上に働き掛けて欲しい。</p> <p>地域との関係性を重視した学校経営がなされていて、大変心強い。今後も南高が南宇和郡を牽引するくらいの存在感を発揮してほしい。</p> <p>2 学習指導</p> <p>授業参観では生徒は落ち着いて学習に取り組んでいた。アンケートでも94%の生徒がまじめに授業に取り組んでいると答えており、大変良いことである。教育活動の基本は授業であり、授業の充実が学校全体の質の向上につながる。</p> <p>南宇和郡全体の教育力の向上を図るためにも、研究授業等で中高の交流を更に進めてほしい。</p> <p>3 生徒指導</p> <p>学校内での生徒の挨拶は良いと思う。学校外でも、顔見知りの生徒は、爽やかな挨拶をしてくれる。</p> <p>今年度は、入学定員が減ったにもかかわらず、課外活動で、インターハイ出場等、多くの素晴らしい成績を残しており、教職員の方々の指導と生徒たちの頑張りに、敬意を表します。今後とも、生徒たちが満足できる、部活動での指導をお願いします。</p> <p>文化祭、体育祭、ボランティア参加の態度等生き生きとした活動を目にすることが特に</p>	<p>校訓「真知」「闊達」「創造」を指導の基本とし、「起せ！イノベーション」という重点努力目標の下、学習活動、部活動を通して心身共に健康で豊かな人間性あふれる生徒を育みたい。さらに将来、地域に生き、地域を創ることのできる力を身に付けさせたい。</p> <p>本校の現状を分析し、その課題を解決するための具体的な目標を、教職員一人一人が設定させるようにしたい。</p> <p>引き続き落ち着いて授業を受けることができる環境づくりに努めたい。教材研究の充実を図り、分かる授業の実践を行いたい。生徒が家庭でも学習できるように、家庭学習時間の確保や個人面接、課題設定の工夫を行い、学習することへの意欲の向上を図りたい。</p> <p>また、学びの場として地域の中核的な役割が果たせるようにしたい</p> <p>社会で必要なコミュニケーション能力の基礎となる基本的な生活習慣を今後も身に付けさせるよう指導を行いたい。</p> <p>部活動においては、生徒の実態を考慮し、学習指導、進路指導とのバランスを図りながら、満足度の高い学校生活を送れるものとしたい。</p> <p>生徒会活動やホームルーム活動、学校行事を通して生徒の自主性を高め、建設的な意見を交換することができる</p>

多くありました。

自転車のヘルメットは通学時は問題なく着用されていますが、安全のため通学時以外も着用を徹底していただきたいと思います。自転車は左側走行と一列走行の徹底をお願いします。保護者の送迎を待つ生徒の中には、地面に座り込んでいるように見える生徒もいます。印象が良くないので御注意いただければと思います。

4 進路指導

郡内中学3年生の4人に一人、学力上位の生徒の7割以上が郡外に出るという現状の中で、国公立合格者が20名を超えるなど、入学生徒に力を付けていただいている。南高でも進路の期待に十分応えられることを地域に示してほしい。

就職・進学について、(特に進学は家計負担がたいへん大きいことから)安易な選択とならないよう十分な支援指導をお願いします。

5 学校運営への提言

町内でよく南高生を見掛けますが、健全であり、良い状況にあると推察します。次年度は、年次進行により、更に1クラス減少することになりますが、今後とも生徒たちの勉学、特別活動、更には学校生活全般に不利益が生じないよう、御配慮をお願いします。南宇和高校の良い所はたくさんある。積極的に情報発信して、中学生やその保護者にプラスのイメージを作してほしい。

6 その他

「南高生としての誇りを持ち、満足した学校生活を送っている」生徒が約9割いるという事実は、先生方も胸を張っていいのではないかと。

人権・同和教育について、大森文化会館で開催されているつくし会には、多くの先生方が参加されており、また、人権だよりも毎月発行され、生徒さんや、保護者の方に人権同和問題について考える機会を作られています。

雰囲気醸成に努め、将来の地域社会を担う一員となることを育みたい。

自転車通学の指導を充実を図り、通学時以外でも自転車乗車時はヘルメットを着用をするよう指導を引き続き行いたい。

校外での生活についても、三者面談や、PTA総会等を通して、保護者に対しても南高生として誇りある行動ができるよう積極的に協力を求めたい。

生徒の能力に応じて、組織的・計画的に進路指導を行ったので、就職希望者は全員就職を進学希望者についてもほぼ希望通りの進路実現を図ることができた。

今後も計画的に進路指導を進め、総合的な学習や部活動、学校行事等を通して学年に応じたコミュニケーション能力の育成に努め、キャリア教育の充実を図りたい。

地域の高齢化少子化の進行は特に著しい。それに対応する方法を考えることは急務である。本校より小規模な学校に学びたい。

また、開かれた学校づくりを推進し、ホームページの充実、広報誌の定期的発行等により、地域や中学校への情報発信を積極的に行い、地域に開かれた学校づくりを図りたい。

郡内唯一の高校として地域のイベントを生徒に積極的に紹介し、地域行事への生徒の自主的な参加を進めたい。

生徒が主体となった公開講座等を実施し、本校生の良さや農業科の新しい教育内容も地域の方に伝えたい。

今後も、開かれた学校づくりを進め、地域に信頼され、地域社会に貢献し、地域にあって良かったと言われる学校づくりを目指したい。